

ニジェール

主要データ

国名〔英名〕	ニジェール共和国〔Republic of Niger〕
面積(km ²)	1,267,000
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	18.0
人口密度(人/km ²)	14.2
GDP(十億US\$)	7.15
一人当りGDP(US\$)	396.27
主要鉱産物：鉱石	ウラン、金
主要鉱産物：地金	-
鉱業管轄官庁	鉱山エネルギー省(Ministry of Mines and Energy)
鉱業関連政府機関	地質・鉱山研究所(ERGM)
鉱業法	Mining Code(2006)
ロイヤルティ	Mining Code 2006、第84条 鉱産物の最終販売価格に対し5.5%を賦課
外資法	-
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
鉱業公社	ERGM
鉱業活動中の民間企業	AREVA、GoviEx Uranium等
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ AREVAが操業するウラン鉱山において、イスラム過激派組織による爆弾テロ、外国人を狙った誘拐事件が多発。 ・ 地域住民による AREVA への鉱山操業反対運動のデモが発生。
2015年以降のトピックス	特になし

1. 鉱業一般概況

ニジェールは、カザフスタン、カナダ、豪州に次ぐ世界第4位のウラン生産国で、2015年同国生産量は4,000t(U)と世界生産の約7%を占める。ウランの他には、石炭、セメント、金、石灰石、錫などが少量生産されている。同国の経済は主に農業とウラン精鉱の輸出に依存しているが、主要ウラン生産国でありながらも人間開発指数(HDI)は世界下位ランクに位置している。

同国では、1950年代から1960年代にかけてフランス地質調査所(BRGM)及びフランス原子力・代替エネルギー庁(CEA)等による探鉱活動が行われ、同国初となるArlette・Arlitウラン鉱山の商業生産は1971年に開始された。もう一つの主要鉱山であるAkoutaウラン鉱山は1974年に操業を開始しており、これら2鉱山で国内生産の9割以上を供給している。なお、2011年からAzelikウラン鉱山が商業生産を開始しており、2015年までに年産2,500t(U)、2020年にはこれを倍増する計画で、現在の主要2鉱山を上回る生産量が期待されている。このほか、Arlitウラン鉱山の南部80kmに位置するImourarenウラン鉱山は将来的には年産5,000t(U)を生産する世界第2位の大規模ウラン鉱床とされていたが、現在のウラン価格では採算が合わないとして2014年5月に開発事業を停止しており、2020年まで再開の目処は立っていない。

同国では過去にイスラム過激派組織による AREVA が操業する鉱山への襲撃及び誘拐事件が発生している。2007 年 4 月に Imouraren ウラン鉱山において武装集団による襲撃事件が発生し、2008 年 6 月には Arlit ウラン鉱山の AREVA 社員 4 名がトゥアレグ族からなる反政府組織「正義のためのニジェール運動」(MNJ) により誘拐される事件が起こった。さらに 2010 年 9 月には、Arilit ウラン鉱山付近で AREVA 社員など 7 名がアルカイダグループに誘拐され、2013 年 10 月に人質が解放されるまで解決に時間を要している。また、2013 年 5 月には Arlit ウラン鉱山においてイスラム過激派組織による車両爆弾テロが発生し、1 名が死亡、14 名が負傷し、生産設備も損害を受けて一時操業を停止した。

2. 鉱業政策の主な動き

同国ではウラン価格が低迷し輸出による利益が得られないとして、ウラン資源を有効利用するため、自国内に原子力発電所を建設することがウラン資源からの収益を確保するには良い手段であるとして原子力発電所の建設の可能性について同国政府のエネルギー・鉱業に係る大統領府アドバイザーがコメントしたと 2015 年 4 月に報じられたがその後具体的な動きは見られない。

鉱山プロジェクトに関しては、AREVA が操業する Arlit ウラン鉱山及び Akouta ウラン鉱山の鉱業契約が 2013 年 12 月に期限を迎え、ロイヤルティ率の引き上げを巡り交渉は長期化した。2014 年 5 月に、新たな鉱業契約期間を 5 年間としロイヤルティを従来の 5.5% から 12% に引き上げることで合意に達している。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2013 年 (t)	2014 年 (t)	2015 年 (t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ウラン	4,518	4,057	4,000	-1.4	6.6	4

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2016)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出品

表 3-2. 主要金属輸出品

鉱種	2013 年 (t)	2014 年 (t)	2015 年 (t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
ウラン鉱石	4,682	4,099	-	-	フランス、米国、中国
金地金	1.0	0.0	1.0	-	スイス

(出典：Global Trade Atlas, International Trade Centre)

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 主要金属輸入量

鉱種	2013 年 (t)	2014 年 (t)	2015 年 (t)	対前年増減比 (%)	主な輸入相手国
チタン化合物	19.0	2.0	5.0	150.0	ドイツ

(出典：International Trade Centre)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業（権益比率：％）	鉱種	2015年生産量	備考
Arlit 鉱山	SOMAIR 社（AREVA）（63.6）、ニジェール国営地下資源関連事業会社（36.4）	ウラン	2,509t	1971年生産開始、露天採掘鉱山 年産能力3,000t、合計生産量58,400t
Akouta 鉱山	COMINAK 社（AREVA）（34）、ニジェール国営地下資源関連事業会社（31）、海外ウラン資源開発（25）、Empresa Nacional Del Uranio SA（10）	ウラン	1,607t	1974年生産開始、坑内採掘鉱山 年産能力2,000t、合計生産量65,900t
Azelik 鉱山	CNNC International Ltd(37.2)、ニジェール政府(33)、Chinese Interests(24.8)、Trendfield Holdings Ltd(5)	ウラン	-	2011年生産開始、年産能力700t 2015年までに年産2,500t、2020年までに5,000tの拡張を目指すも、2014年8月に返済不履行となり、2015年2月にはCNNCが閉山を発表。

（出典：世界原子力協会、AREVA）

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱状況

プロジェクト名	鉱種	保有企業（権益比率：％）
Adrar Emoies	ウラン	Global Atomic Fuels Corp(100)
Boksay	ウラン	Middle Island Resources Ltd(70)、AMI Resources Inc(30)
Dasa	ウラン	Global Atomic Fuels Corp(100)
Imouraren	ウラン	Areva NC Expansion(66.65%)、ニジェール政府(10%)、Sopamin(23.25%)
Madaouela	ウラン	GoviEx Uranium(100)

（出典：各社 HP）

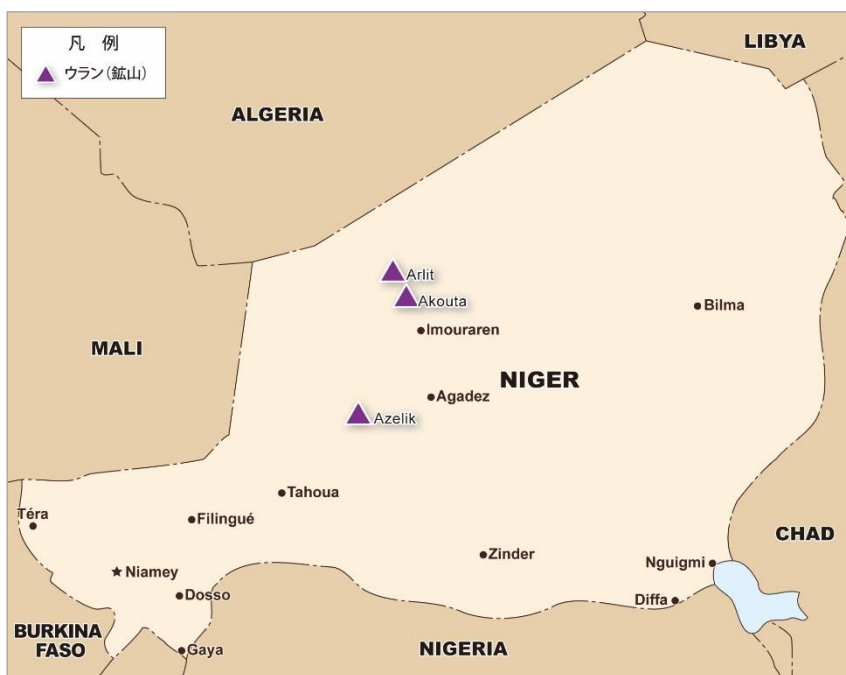


図 1. 主要鉱山等位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ 海外ウラン資源開発がAkoutaウラン鉱山の権益25%を保有している。同社は1970年に設立され、東京電力、DOWAホールディングス、関西電力、中部電力、三菱マテリアルが株主となっている。
- ・ 東芝は、加GoviEx Uranium Incとの間でウラン精鉱引取に関する契約を2012年4月に締結し、加GoviEx Uranium Incが発行する転換社債3,000万US\$を引き受け、東芝連結子会社が保有する20万lbウランを貸し付けることにより、加GoviEx Uranium Incが保有するMadaouelaウラン鉱山のフル生産が開始される2020年から14年間にわたり230t/年(U)を優先的に引き取る権利を有している。

7. その他トピックス

- ・ Arlit ウラン鉱山及び Akouta ウラン鉱山の鉱業契約更新に際して、2014年5月、ロイヤルティ率を従来の5.5%から12%に引き上げることに加え、Arilit ウラン鉱山北部の道路建設に9,000万€、地域開発投資に1,700万€を支払うほか、首都ニアメに鉱山操業のための新たな事務所を1,000万€を投じて建設することで AREVA は政府と合意したとされる。
- ・ Imourarenウラン鉱山について、生産開始時期について、AREVAは当初予定の2013年末から治安情勢の悪化等を理由に2015年に延期し、2013年1月、開発遅延に伴う賠償金として政府に3,500万€を支払った。Mahamado Issoufou同国大統領は、2016年の大統領選挙前の生産開始を熱望していたが、その後、生産開始時期については、足元のウラン価格低迷によりさらに遅れる可能性があり2020年までは目処が立っていない。当該プロジェクトは、1966年にCEAの調査によりウラン鉱床が発見されて以降開発には至っていなかったが、2009年1月にAREVAが操業権を取得して同年5月から鉱山建設が開始された。これまでの投資金額は12億€で、ウラン資源量は213,700t(U品位0.07%)及び概測資源量62,500t(U)とされる。
- ・ Arlit ウラン鉱山において、鉱山労働者がボーナスの不払いがあったとして2015年4月7日から3日間の予定でストライキを行っていたが、2015年4月9日には鉱山側と労働組合との間で合意に至ったとして、当初のストライキ計画より半日早く通常操業を開始した。なお、裁判所は当該ストライキを違法としていた。

(2016.8.21 ロンドン事務所 竹下聡美)